



EDF WAS AWARDED
"NGO OF THE YEAR 2012"

2013年度奨学金を貰うことになった奨学生3人から感謝のメッセージです。

「本当に有難うございました。一生懸命勉強して恩返ししたいです。」

皆様には2013年度の奨学金に就きましても絶大なるご支援いただきまして誠に有難うございました。早速、例年同様に8-9月の間に支援者の皆様へ奨学生の情報を送付させていただいております。しかしながら、今年度は一部の資料に遅れが生じ、大変ご迷惑をおかけしております。

それは、今年度からは学校から送付された学生の写真など郵送からEDFのインターネット上のソフトウェアにデータ記入や学生の写真をアップロードする方法に変更したため慣れない学校もあり遅れが生じたものです。又、中学校2年生や3年生のアンケートの最後のところにある空欄には、いつも子どもたちが手書きでお礼の言葉を書いています。今年はソフトウェアに記入されプリントアウトしたものになりました。

今まで26年間、学校の担当先生に学生の情報を郵便で送ってもらっていましたが大変学校に負担が大きいかかります。特に、郵便局から遠いところにある学校の場合、交通費の負担も小さくない問題でした。今回の変更は、そのための対策ですが、地方の学校の先生方にインターネット上の作業に未だ慣れていない方も多く、又、地方の学校のインターネットの接続の問題などの原因により学生情報を送るのが遅れたケースが生じました。2014年度よりは、この問題を繰り返さないよう更に改善を重ねていく所存です。皆様方の暖かいご理解とご協力をお願い申し上げます。

尚、先月9月には、イサーン地方での活動が多く、その機会に、何人かの奨学生にインタビューしましたのでそのポイントを下記皆様にお伝えします。

チャロン・パナラート(愛称:トーン)中3、ノンウェンソークプラ校、コーンケン県



訪問した日に伝統楽器を吹いてくれたトーン



トーンと母親

品行方正で学校の生徒リーダーとして選ばれたトーン君は母親と暮らしています。学校の行事ではいつも先生たちのお手伝いをし、本当に責任感のある生徒です。また、トーン君の得意なことは東北部の「ポンラン」に使用する伝統的な楽器をやることです。

「奨学金を提供した支援者に本当にどうも有り難うございますと言いたいです。奨学金がなければ今日までの私は絶対にいません。来年は卒業して高校進学したいと思います」

ベンチャポン・レーボン(愛称:ヌック)中2、バーン・ナー・ディー校、コーンケン県



森で竹の子を探しているヌック



竹の子の完成品

ヌックは母親と親戚の人と住んでいます。父親は他の県で働いて時々送金してきます。土日と休日、母親と一緒に森で、キノコと竹の子を探しに行きます。料理の余ったのは村で売って家族の収入に当てます。キノコと竹の子の季節ではない時期には、村の人に頼んで、農作業の日雇いをします。

「奨学金を支給して下さったことに本当に感謝をしています。将来の進学のため、まだ奨学金を貯金しています。一生懸命勉強を続けて、将来は教師になりたいです。」

タッサポン・ホントーン(愛称:サイ)、中2、バーンノンウェンヒー校、ウドンターニー県



学校の代表として運動活動をリードするサイ(左端)



サイのカエル養殖場

サイは授業中も真面目に勉強するし、学校の活動にもよく参加する子です。特に、セパタクローと競争は得意なスポーツです。かつ、生徒のエアロビクスダンスのリーダーもしています。サイは祖母と住んでいます。母親は他の県で働いて時々送金してきます。父親は、サイが生まれた頃に、母親と離婚したため、一度も父親の顔を見たことはありません。サイの家族は蛙と鶏を飼育して、村の人に売っています。「3年間進学用の奨学金を支給して下さって感謝しています。今、中学3年を卒業するところで、高校の勉強を続けたく思います。自分の得意なこと将来は、社会の役立ちたいと思っています。」

ダルニー奨学金が和僑会世界大会物産展に参加



アジア各地で事業を営む日本人起業家の集まり「和僑会」の第5回世界大会が、いよいよ今年11月22日(金)～23日(土)の日程でバンコクで開催されます。タイでは初めての世界大会で、過去最大規模(入場者数1000人以上)の大会となる見通しです。

大会当日は、日本各地からはもとより、和僑会発祥の地である香港和僑会をはじめ、アジア各地の和僑会からメンバーが大挙してバンコクを訪れます。広く和僑の使命と理念を知っていただくため、一般の方々のご参加を歓迎します。

今回の和僑会では、4つの在タイ非営利団体も出展し、出席者の皆様に紹介する場が設けられます。それは、私共「地域開発教育基金」EDFの他、ジャパンハート、ドゥアン・プラティープ財団、シーカー・アジア財団です。支援者の皆様にお会いできることをお楽しみにしております。この和僑会の申込方法、参加費などの詳しくは、同封のポスター(A4サイズ)をご参照下さい。



ニュース・イベント



法政大学生がEDFを訪問

2013年9月6日、法政大学経済学部の学生たちとDr. Julia Yongue(左側の女性)がEDF事務局を訪問しました。EDFの事業運営やタイの貧困問題と教育開発についてEDFからの説明を受けました。

トヨタが社会貢献活動のために現場調査

2013年9月5日、トヨタ自動車株式会社の代表、南出 雅彦様とEDFスタッフは、同社の社会貢献活動の準備への現場調査のためにコンケン県に行きました。ポン郡でノン・ワン・ソーク・プラ学校の見学プロジェクトを見回り、同社より奨学金支援を受けている生徒の家庭も訪問しました。



8年目のタイブリヂストン自転車ラリープロジェクト「Rides the Future」

2013年9月4～5日、タイブリヂストン株式会社は、ノンブラムプー県とブンカーン県で学校から遠く離れた貧困な子どもたちへの200口の奨学金及び200台の自転車の贈呈式を開催しました。タイブリヂストンは、2006年より現在まで、「自転車ラリープロジェクト(Bridgestone Rides The Future)」を行い、タイ東北地方の20県において、併せて2,000人の子どもたちに奨学金と自転車を提供しています。



中小企業交流会へゲストスピーカーとして参加

2013年8月28日、EDFのボランティア・アドバイザーの植田禮治さんは、グランド・タワー・インホテルで中小企業交流会にゲストスピーカーとして参加しました。自身が進めている社会貢献活動やEDFの事業を紹介し、活動の事例を挙げて説明しました。



The Education for Development Foundation
มูลนิธิเพื่อการพัฒนาที่ยั่งยืน

The Education for Development Foundation (EDF)
50, Kasetsart University Alumni Bldg., Phaholyothin Rd., Ladyao:
Jatujak, Bangkok 10900
Tel. 0-2579-9209-11 (タイ語) 0-2942-8538 (日本語) Fax. 0-2940-5266
Email: public@edfthai.org URL: www.edfthai.org/jp

日本でのお問い合わせ：一般財団法人 民際センター
〒162-0081 新宿区山吹町337 江戸川橋東誠ビル5F
TEL: 03-6457-5782 FAX: 03-6457-5783
Email: info@minsai.org URL: www.minsai.org